

# 同窓会報

発行所  
倉敷市有城787  
発行者  
岡山学院大学・  
岡山短期大学同窓会  
TEL: 086-428-2651  
発行日  
令和6年5月

## 巻頭言

### 急速な少子化が進行する中での将来社会を見据えた高等教育の在り方について

岡山学院大学学長  
岡山短期大学学長  
岡山学院大学・岡山短期大学同窓会名誉会長

原田博史

同窓生の皆様におかれましては益々ご活躍のこととお喜び申し上げます。

平素は、母校の発展のためにご支援ご協力を賜り誠に有り難く厚くお礼申し上げます。

今回の表題「急速な少子化が進行する中での将来社会を見据えた高等教育の在り方について」は、昨年9月に盛山正仁文部科学大臣が中央教育審議会に諮問したタイトルです。

2022年の出生数が77万人となり、過去最少の数字となった少子化の進行の中で、高等教育機関（大学・短大・高専・専門学校）への進学者数の推移が、18歳人口のピーク時1993年の約249万人から2022年に約112万人へと半数を大きく割り込み、このまま少子化が急速に進行すると、2040年の大学入学者数は約51万人に、さらには2050年までは50万人前後で推移すると推計されるので、今後の高等教育全体の適正な規模や、地域における質の高い高等教育への進学の在り方、国公立や機関別等の役割分担の在り方を将来を見据えて提言するよう求めたものです。

本学の学生数は1993年度の1,150人が学園史上最高で、その3年後18歳人口が急減した1996年度は737人と3分2以下になり、直近では2022年度は大学短大併せて198人、2023年度は更に164人と一層減少し、2003年から始まった市場原理・自由競争の構造改革路線による大学の増加や定員の増加などは18歳人口の減少幅を一層増幅させて本学の学生募集を困難にしてきました。その規制緩和の中で本学も2002年度には生活情報学科・英語科・食物栄養学科を岡山学院大学新設への改組を行いました。失われた30年と言われる我が国の経済の低迷は2008年から推進してきた原田学園経営改善計画においても適正な学納金の設定もできず経営をさらに厳しくしてきました。

2024年度の大学の入学者数は15人、編入学者は1人、短大は33人と更に減少し、本年2024年度は学園の行く末を大きな覚悟をもって英断しなければなりません。昨年からの私立の短期大学や大学の募集停止や改変などのニュースが多くみられるようになりました。如上のとおり本学も学生数の減少により私学経営が困難な状況に至っております。経営改善のためには学生数を増加させなければなりません。そのためにはこれからの社会で必要な人材養成に傾注しなければなりません。2023年度から大学および短大ともに「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」の認定を受けました。これからの社会Society5.0で求められる教育として大学および短大が実施してきた情報教育の内容が認められた結果です。2024年度はこの教育プログラムを一層発展させ、Society5.0のデジタル人材を養成すべくカリキュラム改革を実施します。すでに岡山学院大学はデジタル人材を養成するデジタル生活学部デジタルメディア学科

#### 第69回同窓会総会懇親会

令和6年7月7日(日)

倉敷ロイヤルアートホテル

午前11時～

※詳細は次のページをご覧ください。

#### 第6回関西同窓会

令和6年9月8日(日)

ホテルグランヴィア大阪

※詳細は後日HPにてご案内

いたします。



の新設を人間生活学部食物栄養学科の募集停止を条件にして申請書を提出しましたが、今年度から文部科学大臣の諮問の由か少子化に歯止めがかからない由か規制緩和も強化へと転換されてきたので、新設に係る審査にも時間を要すると判断し、少しでも迅速にデジタル人材の養成を実現するために新設申請を中止して人間生活学部食物栄養学科の募集停止の条件を取り止め、改めて食物栄養学科の教育目標にデジタル人材養成のカリキュラムを編成し実施することにしました。また、短大の幼児教育学科においても同様にカリキュラムを見直しすることになります。

カリキュラム改革だけでは入学者の回復には繋がりません。政府の教育未来創造会議は外国人留学生の受入れ数40万人の実現を目指すとしています。本学は、大学および短大ともに外国人留学生の受入れを開始しようと考えています。少子化を止めることができなかった状況下では、外国人留学生の受入れが必要です。ただ募集するのではなく日本語学校と提携し一定数の学生を確保し、定員を充足させます。

今まで学生を確保するために授業料等の納入金を他大学より廉価にしてきましたが、収入を増やすためにはある程度の増加を図る必要があります。しかしながら入学生が減少する中、私学助成金等の対策から入学定員を大学および短大共に40人とした現在、大学の必要教職員数の多さ、特に短大は設置基準の必要教員数を大幅に越しているので支出超過の大きな回復の目途は立たず、本学の財務の状況は借入金がなく自己資金で経営してきましたが、早急に寄付金募集等、外部資金の導入を図る必要があります。学校経営で一番大切なことは、本学が示す学習成果を入学者に獲得させて社会に送り出すことです。そのためには法人合併も視野に入れなければなりません。このように2024年度は原田学園が大きな決断を下さなければならない年であります。早急に決定し、同窓生の皆様にはいち早くお知らせしご協力をお願いいたします所存でありますのでどうかよろしくご協力のほどお願い申し上げます。

## 同窓会総会・懇親会と同期会のお知らせ

第69回同窓会総会は、来る令和6年7月7日(日)の午前11時から倉敷ロイヤルアートホテルに於いて開催されます。今年は「6」がつく年の卒業生の方々が準備会の当番です。総会・懇親会は毎年有意義に楽しく進めております。お友達お誘いあわせの上、是非ご参加くださいませようお知らせいたします。なお、一部内容が変更となる場合がございます。ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

### 1. 日 時

令和6年7月7日(日曜日)

総会 11:00～12:00 懇親会 12:00～14:00

### 2. 場 所

倉敷ロイヤルアートホテル 地下1階フィレンツェ  
倉敷市阿知3-21-19 (JR倉敷駅から徒歩10分)  
TEL: 086-423-2400



※会場に専用駐車場はございません。有料駐車場も数に限りがございますので、可能な限り公共交通機関をご利用ください。

### 3. 総会次第

- (1) 令和5年度事業報告並びに決算報告
- (2) 監査報告
- (3) 役員紹介
- (4) 令和6年度事業計画(案)並びに予算(案)
- (5) その他

### 4. 懇親会

総会終了後、引き続きその場で行います。美味しい食事を頂きながら、楽しくお過ごしください。

### 5. 参加費および申込方法

参加費 7,500円(新入会員 令和6年3月卒業者のみ3,000円)

申込方法 参加希望の方は、同封の郵便振替の払込取扱票により、会費をお振込みください。アレルギー等でお召し上がりになれない食材がございましたら払込取扱票の通信欄へご記入ください。可能な限り配慮させていただきます。

申込期限 令和6年6月7日(金)

申込キャンセル 6月21日(金)17時00分までに、下記担当者まで必ずご連絡をお願いいたします。期日までにご連絡が無い場合は欠席の場合でも参加費のご返金は出来ません。

### 6. お問い合わせ先

岡山学院大学・岡山短期大学同窓会事務局  
担当: 奥野・長谷川  
〒710-8511 倉敷市有城787 TEL: 086-428-2651  
FAX: 086-429-0323

同窓会総会・懇親会に参加される当番年の方は同期会を開催していただくことも可能です。詳しくはお問い合わせ先までご連絡ください。





### 令和5年度 同窓会役員

敬称略

名誉会長	岡山学院大学学長 岡山短期大学学長		原 田 博 史
会 長	昭 和 4 2 年	保	中 塚 志 津 子
副 会 長	昭 和 4 1 年	保	森 上 敏 子
	昭 和 5 8 年	幼	平 松 弘 子
常務理事	平 成 2 9 年	食	奥 野 楓
	平 成 3 0 年	食	長 谷 川 奈 美
理 事	昭 和 5 8 年	幼	吉 井 理 恵
	昭 和 6 2 年	幼	高 岸 益 子
	平 成 1 8 年	食	山 口 泰 明
	平 成 2 0 年	食	平 野 聡
	平 成 2 4 年	食	黒 明 明 子
	平 成 2 5 年	食	北 條 由 貴
監 事	令 和 2 年	幼	橋 本 慎 一 朗
	昭 和 5 2 年	幼	西 早 苗
	平 成 1 5 年	幼	木 村 太 郎
	平 成 2 4 年	食	岡 部 麻 耶

### 本部便り

#### 令和5年度 第1回理事会(令和5年5月17日)

- 令和4年度事業報告および収支決算について、協議の上、一部修正を加え決定された。
- 令和4年度収支決算について「適正な処理がなされていた」と監査報告があった。
- 令和5年度事業計画案および予算案について、協議の上、一部修正を加え決定された。
- 岡山学院大学・岡山短期大学同窓会 第68回同窓会総会・懇親会について、協議の結果、令和5年7月2日(日)倉敷ロイヤルアートホテルにて開催することが決定された。
- 理事会の開催日時について、第2回理事会は令和5年6月23日に開催されることとなった。

#### 令和5年度 第2回理事会(令和5年6月23日)

- 第68回同窓会総会・懇親会の準備を行った。
- 第68回同窓会総会・懇親会配布資料について、協議の上、一部修正を加え決定された。

#### 令和5年度 第3回理事会(令和5年12月6日)

- 第68回同窓会総会・懇親会の報告および決算について報告があり、その後反省が行われた。
- 第69回同窓会総会・懇親会の開催場所及び日程について協議され、令和6年7月7日(日)に倉敷ロイヤルアートホテルにて開催することが決定した。

### 第68回同窓会総会記録

令和5年7月2日(日)倉敷ロイヤルアートホテル(フィレンツェ)にて、卒業年の末尾に「5」のつく方々の運営で同窓会総会・懇親会が開催された。今年は、原田博史学長をはじめ、他8名の先生方のご出席をいただいた。

#### 【第68回 同窓会総会】

- 開 会 司会：平松弘子副会長、吉井理恵理事
- 会 長 挨 拶 中塚志津子会長
- 名 誉 会 長 挨 拶 原田博史学長
- 来 賓 紹 介 平松弘子副会長、吉井理恵理事より来賓紹介
- 来 賓 挨 拶 久保豊子先生
- 物 故 者 追 悼 ( 黙 禱 )
- 役 員 紹 介 役員自己紹介
- 議 長 選 出 藤井結愛氏(令和5年食)
- 議 事

(1)令和4年度事業報告並びに決算報告

長谷川奈美常務理事、奥野楓常務理事

・理事会…年4回

(令和4年5月、7月、11月、12月)の開催

・準備会…令和4年10月(第67回同窓会総会準備会)

令和5年2月(第68回同窓会総会準備会)

・第67回同窓会総会・懇親会の開催

(令和4年11月20日(日))

・同期会への補助…昭和42年3月卒、昭和52年3月卒  
(幼児教育学科)

・同窓会報第43号発刊

・ICTリテラシー教育のための拠金(継続)

・ホームカミングデーに協力

(2)監査報告

西早苗監事

「厳正なる監査を行ったところ適正なる処理ができていた」と報告された。

(3)令和5年度事業計画案並びに予算案

長谷川奈美常務理事、奥野楓常務理事

・理事会…年3回

(令和5年5月、6月開催、12月開催予定)

・準備会…令和5年6月(第68回同窓会総会準備会)

令和6年2月予定(第69回同窓会総会準備会)

・第68回同窓会総会・懇親会の開催

(令和5年7月2日(日))

・同期会への補助…令和5年3月卒

(食物栄養学科) 予定

・同窓会報第44号発刊

・ICTリテラシー教育のための拠金(継続)

・ホームカミングデーに協力

10.ホームカミングデーについて

奥野楓常務理事

11.閉 会

森上敏子副会長

### 【同窓会懇親会】

総会后、藤井結愛さん(R5食物卒)、池田優衣さん(R5食物卒)の司会進行で懇親会が始まりました。松家ひなたさん(R5幼教卒)の開会挨拶後、原田俊孝副学長先生に乾杯をしていただきました。懇親会では懐かしい同級生や来賓の先生方と会話をしながら、美味しいお食事を楽しみました。余興は原田博史学長先生のカラオケ〈テイクミーホームカントリーロード〉から始まり、令和5年食物栄養学科卒業有志の皆さんに近況報告、令和5年幼児教育学科卒業有志の皆さんにバナナくん体操(幼児ダンス)、昭和40年保育科卒業の山本一女さんに近況報告をしていただき、会場は大いに盛り上がりました。最後に毎年恒例になっている〈大学校歌〉〈短大学歌〉を合唱いたしました。そして黒明佳子さん(R5幼教卒)の閉会挨拶により、第68回同窓会総会及び懇親会は無事終了いたしました。

原田博史学長先生、原田俊孝副学長先生、久保豊子先生、畑伸秀先生、山田治来先生、佐藤幸枝先生、堀口のぞみ先生、尾崎聡先生、都田修兵先生、ご出席ありがとうございました。次回もまたご出席いただき、同窓生と楽しい一時を過ごしていただければ幸いです。



学長先生



第68回懇親会 会席



R5食物栄養学科卒



大学校歌・短大学歌 合唱



岡山学院大学人間生活学部食物栄養学科  
令和5年度卒業研究

内容は以下の通りである。

- 「アニサキスについて～全国・岡山県の増加原因の検討～」  
大賀未来梨
- 「妊娠糖尿病患者に向けたデザート～妊婦でも安心して食べれるデザート～」  
大村文葉
- 「梅毒について～岡山県の増加原因の検討～」  
坂本和奏  
(研究指導：畑伸秀教授)
- 「肺がん遺伝子多型について」  
川野南菜美  
(研究指導：清水憲二教授)
- 「腸内フローラとダイエット」  
井田光
- 「腸内フローラと運動」  
林勇輝  
(研究指導：狩山玲子教授)
- 「腸活で美肌をつくる」  
網矢いちか
- 「腸内フローラについて」  
下津楨莉奈  
(研究指導：佐藤幸枝准教授)
- 「腸活について」  
磯田伊吹
- 「温活と腸活」  
米田妃奈乃  
(研究指導：内田雅子講師)
- 「笠岡地区農村部における農業体験に関する研究」  
張谷萌永花、宮宇地優衣、宮武佑理、虫上歩由美  
(研究指導：平野聡講師)
- 「卒業研究」  
多田歩生  
(研究指導：堀口のぞみ講師)
- 「マイナー調味料を用いた減塩食の官能評価と統計解析」  
濱木裕太
- 「アレルギー対象者用豆乳メレンゲを使ったシフォンケーキ」  
細川賢汰  
(研究指導：氏峰葉里講師)

岡山短期大学幼児教育学科  
令和5年度「子どもとっしょに運動会」

令和5年5月19日(金)、本学体育館において岡山短期大学幼児教育学科「子どもとっしょに運動会」(9:20開場 9:40開会 11:45閉会)が開催された。コロナ禍以後は団体を招待せず、近隣の未就園児と保護者を中心に参加を募っている。予約は保護者4名、子ども6名であったが、当日は保護者16名、子ども14名の参加があった。卒業生とその子ども、学生の親類の親子なども募集を見ての参加があり、和やかな交流の場となった。子どもたちは学生の工夫した各年齢別の種目に参加し、保育者役を演じる2年生の援助を受けながら競技を楽しんだ。1年生は主に子ども役を演じた。大会のラストを飾る種目は1年生(学生・教員)対2年生(学生・教員)による“本気”リレー「燃えろ!リレー!」で、大変な盛り上がりとなった。プログラムは以下のとおりである。

- ・開会式
- ・ばいきんまんをやっつけよう(2歳児)
- ・動物になりきっちゃおー(3歳児)
- ・作って運ぼういちごのケーキ(4歳児)
- ・つなげてつなげてボールリレー(5歳児)

- ・燃えろ!リレー!(学生・教職員)
- ・閉会式



子どもとっしょに運動会

岡山短期大学幼児教育学科  
令和5年度「子どもとっしょに発表会」

令和5年12月1日(金)、本学体育館において岡山短期大学幼児教育学科「子どもとっしょに発表会」(9:10開場 9:55開会 11:40閉会)が開催された。

昨年度はコロナ禍の余波により参加者数を限定したこと、当日がインフルエンザの波と重なったため、やや寂しい発表会となったが、本年度は近隣の園施設・親子クラブ・一般等から多数の来場者があり、久々の華やかな会となった。子どもたちは引率者・保護者や学生と遊びの広場で活動したり、舞台発表を観覧して楽しい時間を過ごした。



子どもとっしょに発表会

プログラムは以下のとおりである。

- ・開場 遊びの広場  
絵本、紙芝居のコーナー(言葉ゼミ)  
手作り遊具(図画工作ゼミ)
- ・開会宣言(学生)
- ・主任教授挨拶
- ・演奏  
♪「ミッキーマウス・マーチ」  
♪「パプリカ」  
♪「ほよよん行進曲」(吹奏楽ゼミ)
- ・幕間 手あそび(表現ゼミ1年生)
- ・幼児ダンス  
「オラはにんきもの 25thMIX / のはらしんのすけ」  
(表現ゼミ2年生)
- ・幕間 手あそび(公務員ゼミ1年生)
- ・オペレッタ「おむすびころりん」(2年生)

- ・幕間 手あそび (表現ゼミ 1年生)
- ・発表「ぐりとぐら」(幼児と音楽ゼミ)
- ・幕間 手あそび (表現ゼミ 2年生)
- ・幼児ダンス  
「Mickey Mouse March / 平井大」(表現ゼミ 1年生)
- ・幕間 手あそび (表現ゼミ 2年生)
- ・幼児ダンス「はなかつぱ」(公務員ゼミ)
- ・幕間 インタビュー (2年生)
- ・オペレッタ「三匹のこぶた」(2年生)
- ・閉会のあいさつ (2年生)
- ・アーチでお見送り (全員)

上田恋華、中田百香、平川千帆里、藤本里菜子、前田姫来里

(指導教員：吉田升 (表現ゼミ))

「Society5.0と幼児音楽 —ボーカロイドによる音楽絵本『ぐりとぐら』—」

竹田優花、藤岡みわ、水城桃

(指導教員：大羽恵子 (幼児と音楽ゼミ))

「Youtubeを活用し、音楽の楽しさを配信する」

赤沢花恵、池本瑠奈、木山泉、檀上未奈、羽仁菜々子、早崎綾華

(指導教員：井上充隆 (吹奏楽ゼミ))

「子どもたちの記憶に残る支援法に関する研究」

石田千晴、平美穂、日並柚葉、森田玲実

(指導教員：大賀恵子 (児童心理学ゼミ))

「令和5年度公務員ゼミの取組」

浅野未帆、粟井彩穂、岩田怜奈、近江妃名、大森夢叶、岡根美桜、九郎座心、田邊優美、豊崎陽夏乃、西田美濤、新田瞬、根師菜月、原章子、樋上愛唯、福田妃真莉、若田一華、渡部優里

(指導教員：尾崎聡・都田修兵 (公務員ゼミ))

### 岡山短期大学幼児教育学科 令和5年度卒業研究発表会

令和5年度岡山短期大学幼児教育学科「卒業研究発表会」は1月12日～1月19日の間でそれぞれのゼミにおいて、1年生後期の「卒業予備研究」以来の1年半にわたるゼミ活動を指導教員とゼミ生全員で振り返りながら行われた。発表題目・発表者・指導教員は以下のとおりである。  
[発表題目および発表内容]

「保育現場の公正価格の現状について —デルファイ法に基づくアンケート調査の実施と一考察—」

市山翔望、栗田風香、小曳諒子、末廣葉琉

(指導教員：原田俊孝 (情報ゼミ))

「幼児の言葉を育てる保育者を目指して」

香川琳、藏富莉帆、暮石こころ

(指導教員：浦上博文 (言葉ゼミ))

「アートと出会おう —観たくなる、作りたくなる活動に向けての一考察—」

縄田亜依莉、八家亜美加、廣畑向日葵

(指導教員：関野智子 (図画工作ゼミ))

「身体表現活動に関する研究 —幼児ダンスに着目してⅡ—」



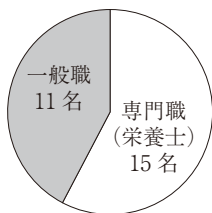
幼児教育学科 卒業研究発表会

### 令和5年3月卒業生就職状況

岡山学院大学

#### 人間生活学部 食物栄養学科

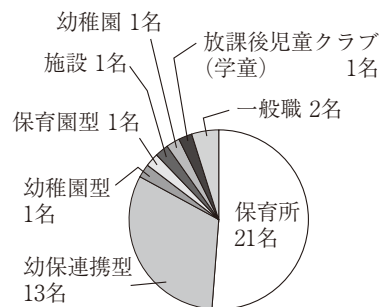
卒業者数	32名
就職希望者数	26名
専門職(栄養士)	15名
一般職	11名



岡山短期大学

#### 幼児教育学科

卒業者数	47名	保育園型認定こども園	1名
就職希望者数	41名	施設	1名
保育所	21名	幼稚園	1名
幼保連携型認定こども園	13名	放課後児童クラブ(学童)	1名
幼稚園型認定こども園	1名	一般職	2名



岡山学院大学・岡山短期大学  
令和4年度後援会事業報告

1. 概要

- 岡山学院大学岡山短期大学後援会  
令和4年度理事  
(岡山学院大学 8名 岡山短期大学 4名)
- 設置する学校・学部・学科  
岡山学院大学 人間生活学部 食物栄養学科  
岡山短期大学 幼児教育学科
- 当該学校・学部・学科の入学定員、学生数の状況  
(令和4年5月1日現在)

学校名	学部・学科等名	開設年度	入学定員	収容定員	現員	備考
岡山学院大学	人間生活学部 食物栄養学科	年度 H14	人 40	人 160	人 102	H22 定員変更 100→40
	計		40	160	102	
岡山短期大学	幼児教育学科	年度 S33	人 100	人 200	人 96	H22 定員変更 150→100
	計		100	200	96	

教職員数

	法人	岡山学院大学	岡山短期大学	合計
専任教員	0	16	11	27
専任事務職員	1	7	7	15

兼担及び非常勤教員数

	岡山学院大学	岡山短期大学
兼担教員	7	3
非常勤教員	9	11

2. 事業の概要

事業	概要・目的
校舎内清掃代の助成	各棟清掃代金の助成 1,402,755円
無料通学バス運行費用の助成	倉敷駅前(7番乗場) ～本学A棟前間の無料直行バス運行 (登校時2便・下校時3便) 令和4年度前期 運行日数 90日、 延べ 8,951人乗車 無料通学バス運行費用の助成 4,455,000円(前期分のみ)

岡山学院大学・岡山短期大学  
ICTリテラシー教育のための拠金者一覧

(令和5年1月～令和5年12月の拠金者)

卒年	学科	氏名
昭30	家政	長田 多津美
昭30	家政	角南 敏栄
昭31	家政	寺見 登和子
昭31	家政	坂本 登志子
昭33	家政	大山 美津子
昭33	家政	下前 弘代

昭34	幼稚園教員	西平 公子
昭36	家政	横浦 多津子
昭36	保育	山崎 久子
昭37	家政	原田 和子
昭37	家政	岡本 順子
昭38	家政	田原 厚子
昭39	保育	出口 ヤウ
昭39	保育	岩田 典子
昭39	家政	佐藤 恵美子
昭40	栄養	岡野 田鶴子
昭40	栄養	萩本 茂子
昭40	家政	小林 慶子
昭40	保育	弓場 則子
昭41	保育	森上 敏子
昭41	栄養	西野 浪子
昭41	栄養	竹本 千代子
昭42	保育	西田 淳子
昭42	栄養	池田 公子
昭42	保育	小林 梢
昭43	栄養	木下 彰子
昭44	保育	酒井 早苗
昭44	家政	湯畑 富貴恵
昭44	保育	信藤 直美
昭44	保育	佐藤 啓子
昭46	幼児教育	杉田 信子
昭47	幼児教育	太田 文江
昭47	家政	中元 八重子
昭48	食物栄養	小川 恵子
昭50	食物栄養	頼政 光江
昭52	幼児教育	山上 幸子
昭52	幼児教育	中土井 悦子
昭52	幼児教育	秋山 智代
昭53	食物栄養	藤森 智子
昭54	幼児教育	森 恭子
昭58	幼児教育	吉井 理恵
昭58	幼児教育	平松 弘子
昭62	幼児教育	高岸 益子
昭62	幼児教育	澗口 昌子
平2	食物栄養	前田 淳子
平3	英語	加賀 千恵子
平7	幼児教育	藤原 雅美
平7	英語	中田 宗江
平8	英語	竹口 香織
平14	食物栄養	堀 幸
平24	食物栄養	井上 紗央里

拠金内訳	
3,000円×2名	6,000円
5,000円×37名	185,000円
10,000円×10名	100,000円
20,000円×1名	20,000円
50,000円×1名	50,000円
合計	361,000円



岡山学院大学・岡山短期大学  
ICTリテラシー教育のための拠金の御礼  
および拠金継続について

母校のICTリテラシー教育の益々の発展を支援するため、一千万円を目標に拠金を継続してまいりました。下記の通り、多数の方々のご協力を得ましたこと、発起人一同心より御礼申し上げます。

しかし、下記のように未だ目標額には遠くおよびません。拠金は、継続して積み立てることになっておりますので、今後も皆様の温かいご支援をいただき目標額を達成すべく、拠金の受付をいたしますので、何とぞご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、平成19年度に第1回目の贈呈（図書館ノートPC12台〈3,000,000円〉）、令和元年度に第2回目の贈呈（図書館ノートPC5台〈669,600円〉）、令和2年度に第3回目の贈呈（栄養計算ソフト導入5台〈176,000円〉）を行っています。

拠 金 総 額

年 度	拠 金 額	振込手数料	累 計
平成14・15年度	1,927,624円	16,220円	1,911,404円
平成16年度	590,000円	4,420円	2,496,984円
平成17年度	363,000円	4,430円	2,855,554円
平成18年度	280,000円	3,930円	3,131,624円
平成19年度	335,000円	4,920円	3,461,704円
平成20年度	287,000円	5,360円	3,743,344円
平成21年度	202,000円	0円	3,945,344円
平成22年度	215,000円	0円	4,160,344円
平成23年度	210,000円	0円	4,370,344円
平成24年度	1,190,000円	0円	5,560,344円
平成25年度	133,000円	0円	5,693,344円
平成26年度	138,000円	0円	5,831,344円
平成27年度	113,000円	0円	5,944,344円
平成28年度	156,000円	0円	6,100,344円
平成29年度	219,000円	0円	6,319,344円
平成30年度	151,000円	0円	6,470,344円
令和元年度	196,000円	0円	6,666,344円
令和2年度	229,000円	0円	6,895,344円
令和3年度	55,000円	0円	6,950,344円
令和4年度	180,000円	0円	7,130,344円
令和5年度12月末現在	361,000円	0円	7,491,344円
合 計			7,491,344円

※平成21年度より拠金にかかる振込手数料は、決算書の支出科目に手数料支出を設けそちらで管理することとなりました。

拠金発起人一同

令和4年度 収支決算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金額(円)	科 目	金額(円)
繰越金	9,924,339	会議費	395,637
当年度新入会員会費 受入収入	1,340,000	交通費	45,446
翌年度新入会員会費	1,600,000	印刷費	428,177
翌々年度新入会員会費	60,000	通信費	1,070,658
総会費	270,000	慶弔費	0
50年の歩み冊子収入	0	消耗品費	14,204
拠金収入	180,000	手数料支出	8,599
雑収入	3,674	翌年度新入会員会費 支払支出	1,600,000
合 計	13,378,013	翌々年度新入会員会費 支払支出	60,000
		予備費	
		次年度繰越金	9,755,292
		合 計	13,378,013

中国銀行スーパー定期	6,000,000
笠岡信用組合定期預金	5,000,000